Masanobu Okajima

岡島政信 議員

Q・集中豪雨等に対する排水対策は
A・ポンプ能力の強化等進めていく

Q 道路等の冠水する箇所を把握しているか。

A 産業建設部長
降った雨は、すぐに側溝へ流入する。局所的集中豪雨は道路の設計基準を超えると冠水する。町内に数箇所あることは認識している。

Q 伊勢山東交差点付近は冠水しやすい箇所か。

A 産業建設部長
6月30日の集中豪雨により道路冠水が発生したことは把握している。

Q 冠水した所の調査結果は。

A 産業建設部長
伊勢山東交差点付近の原因は、用水の水量やその他の要因が複合的に重なったと考える。

Q 豪雨時の排水対策は。

A 産業建設部長
新川流域水害対策計画に基づき、下水道の整備や久田良木川排水機場のポンプ能力強化などの施策を実施していく。

Q 近年、急速に開発が進み、田んぼは20年で3分の1に減少した。田んぼの持つ保水能力の減少が危惧されるが。

A 産業建設部長
新川流域では、500㎡以上の土地改変には、雨水浸透対策が義務付けられている。町では役場や神明公園などの公共施設に、合計1万2千㎥の地下式・屋外式の雨水貯留施設を整備している。また、下水道の普及により不要となった合併処理浄化槽の雨水貯留施設へ転換された方に補助金を交付している。

Q 水路のごみや雑草等が排水機能を阻害しているのでは。

A 産業建設部長
平時から区委員と共に、農業用水等の適正な管理に努めている。できることには限界があり、今後も農地所有者や町民の皆様にも協力頂くよう広報等で呼び掛けていく。

▲伊勢山東交差点の冠水箇所